

尾道市立美術館

コレクション展



新収蔵品《旅先からの便り》奥山民枝 平成23年(2011) 本館(寺田小太郎コレクション)蔵

令和元年 **11**月 **2**日(土) - 令和2年 **1**月 **19**日(日)

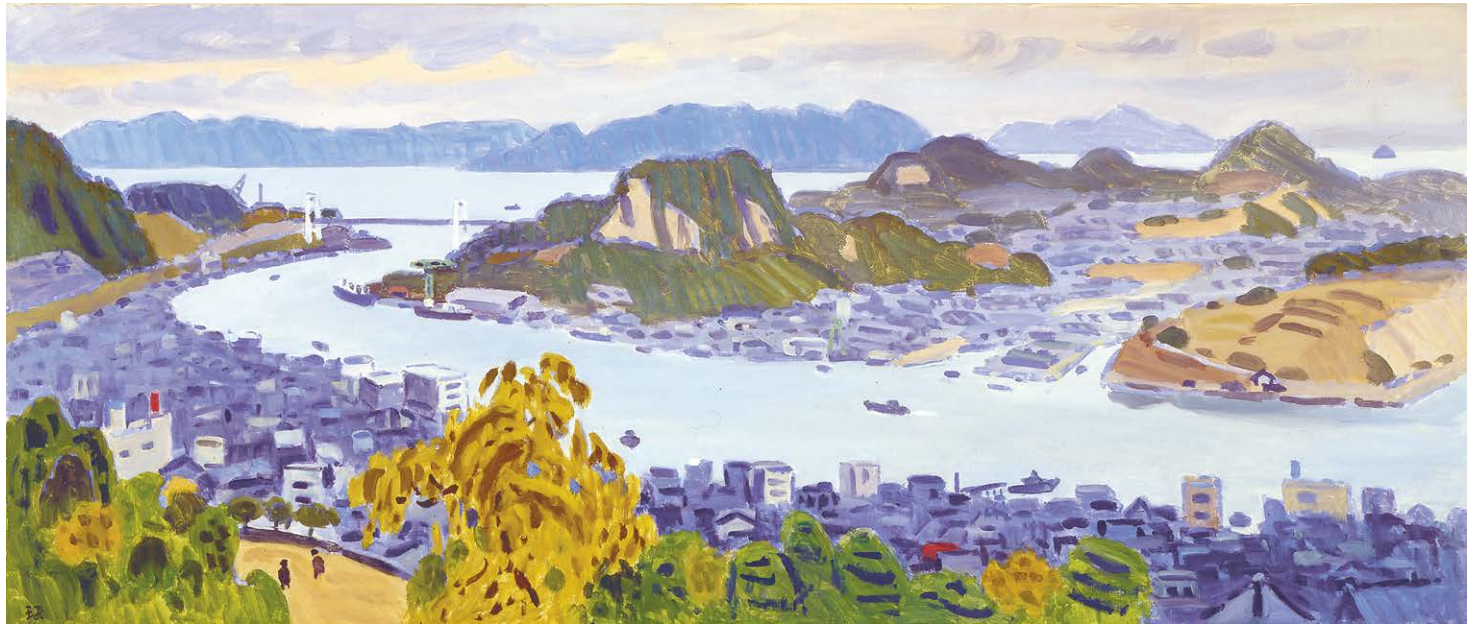
新収蔵作品を中心に

休館日 | 月曜日(ただし、1月13日は祝日のため開館)、年末年始(12/29~1/3)

開館時間 | 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 | 一般310円 高・大生210円 中学生以下無料
(団体20名以上は各50円引)

※70歳以上・各種手帳をお持ちの方は、証明できるものを掲示により無料



企画展「尾道市立美術館コレクション展—新収蔵品を中心に」を開催します。本館のコレクションは、昭和55年(1980)の開館から始まり、以来、尾道市名誉市民の洋画家小林和作の作品を中心に形成されてきました。この小林和作を核に、親交のあった日本画家森谷南人子、そして尾道ゆかりの作品で構成されています。また、日本の現代美術を代表する作家の一人であり、尾道市立大学芸術文化学部で後進の指導にもあつた奥山民枝の作品が今年寄贈され、新たなコレクションとして加わりました。本展が初公開となります。

その他、小林和作、森谷南人子など尾道を代表する作家の優品を展示すると共に、尾道ゆかりの作品の数々をご紹介します。この機会に、ご鑑賞ください。

上段：中村琢二《尾道水道の印象》昭和53年(1978) 下段左：小林和作《高原》昭和33年(1958)(丹下コレクション) 下段中央：亀山全吉《ブルースカイ》昭和
下段右：森谷南人子《桃花処々》昭和15年(1940)

関連行事

ギャラリー・トーク ※当館学芸員が担当

日時：11月24日(日)、12月15日(日) 14時～(40分程度)

対象：一般。参加無料・申込み不要。ただし展覧会観覧料が必要です。

●JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車ロープウェイで「千光寺公園」へ。(ロープウェイのりばで「往復乗車券+観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。)なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。●お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り100円割引します。●JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。



▲当館2Fロビーから尾道水道を望む

